



<http://lib-minamikyushu.jp/>

お知らせ

知覧

☆こどもの読書週間企画

手づくりしおりを作ろう!!☆

～自分だけのオリジナルしおりを作りますか?～

☆新しいDVD・CDが入りました!☆

【DVD】「泣くな赤鬼」「閉鎖病棟」 など

【CD】「STRAY SHEEP」 米津玄師

「LEO-NINE」 LiSA

「CEREMONY」 King Gnu など

ぜひ、ご利用ください。

川辺

☆川辺親子読書会 会員募集☆

期 間：令和3年6月～令和4年3月

日 時：毎月第1土曜日 午前10時30分～正午

場 所：川辺図書室 定員：15人

年会費：子ども1人300円

対 象：南九州市在住の乳幼児・小学校低学年と保護者

※5月15日（土）までに川辺図書室にお申込ください。

「雑誌タブレット」はじまります!

南九州市立図書館では、令和3年度より雑誌閲覧用のタブレットを導入します。雑誌タブレット導入により、約500誌の雑誌閲覧が可能となります。



『車中泊浪漫』

今週末から楽しむ!

快適車中泊のトリセツ!

出版社/徳間書店

幅広い世代に人気の車中泊スタイル。災害時の避難場所としても注目を集めています。クルマ選びの基本から、実際のユーザーの楽しみ方までヒントやアイデア満載です。

【南九州市立図書館の利用について】

●1枚のカードで10冊まで貸し出しができます。

●貸出期間は2週間です。

●延長をご希望の方は、返却をする前にカウンターまで申し出ください。申し出た日が返却日から1週間以内であり、予約が入っていない本であれば、延長し、続けて2週間の延長ができます。ただし延長は1回のみに なります。

5月の休館日

知覧図書館 ☎0993-83-4939 (休)月曜、5/6(木)、19(水)

額娃図書館 ☎0993-27-3311 (休)火曜、5/7(金)、20(木)

川辺図書室 ☎0993-58-3215 (休)火曜、5/7(金)、20(木)

5/1(土)～5/5(水)ゴールデンウィークは、すべて開館しています。

南九州市青少年健全育成キャッチフレーズ

「地域の声かけで育む 心豊かな青少年」

「青少年育成の日」
毎月第3土曜日

☆地域でのあいさつ・声かけの励行など、地域ぐるみで青少年を育てましょう。

「家庭の日」
毎月第3日曜日

☆子どものスマホなどのフィルタリング設定と、正しく利用するための家庭内ルールを作りましょう。

おこるとき ほめるとき 分かりやすく 教えてくれて ありがとう
「ひまわりカレンダー」より



ふるさと体験学級 茶レンジ隊
「時絵・螺鈿体験」
～筆で下絵に色を塗る参加者～

「共通実践事項」

- 気持ちのよいあいさつと返事をしよう!
- 地域の行事に参加しよう!
- 家の手伝いや読書をしよう!

親子ですてきな読書の時間

中福良小学校家庭教育学級

主な活動

家庭教育学級生が、毎週水曜日、読み聞かせを行っています。

とってもおもしろい本でした。すいようびをいつも楽しみにしています。

子どもたちの声

会員の声

夏より落ち着いている姿が見られます。皆、真剣に聞いてくれます。

親子読書発祥の地である南九州市。家庭でも親子で読書を楽しんでください。

校長先生から



▲瀬平の観音像



▲瀬平の瀬道跡

かつて人々に恐れられた難所も、大正五年（一九一六年）に県道が開通しました。現在は海岸の上に防潮のための松林があり、潮の香り漂う中に雄大な開聞岳を眺めることができます。景勝地です。

かつて人々に恐れられた難所も、大正五年（一九一六年）に県道が開通しました。現在は海岸の上に防潮のための松林があり、潮の香り漂う中に雄大な開聞岳を眺めることができます。景勝地です。

瀬平の海岸線の東半分は長い砂浜が続きますが、瀬平海岸には岩礁があり、江戸時代は「瀬平の瀬渡り」といって、波しぶきを浴びながら岩場を歩く交通の難所でした。瀬平公園内の洞窟にある観音像の背面に刻まれた碑文には、「額娃郡長崎庄左衛門の通路巍巍たる岩畔……」とあり、厳しかった様子がうかがえます。瀬道が完成したことに感謝するとともに、難所である瀬平の安全を祈願して元禄四年（一六九一年）に観音像が置かれました。洞窟の壁面には、元文三年（一七三八年）と延享四年（一七四七年）に瀬道を建立したと刻まれています。瀬道のあとは、現在も瀬平橋の下に岩盤の一部残っています。

瀬平の海岸線の東半分は長い砂浜が続きますが、瀬平海岸には岩礁があり、江戸時代は「瀬平の瀬渡り」といって、波しぶきを浴びながら岩場を歩く交通の難所でした。瀬平公園内の洞窟にある観音像の背面に刻まれた碑文には、「額娃郡長崎庄左衛門の通路巍巍たる岩畔……」とあり、厳しかった様子がうかがえます。瀬道が完成したことに感謝するとともに、難所である瀬平の安全を祈願して元禄四年（一六九一年）に観音像が置かれました。洞窟の壁面には、元文三年（一七三八年）と延享四年（一七四七年）に瀬道を建立したと刻まれています。瀬道のあとは、現在も瀬平橋の下に岩盤の一部残っています。

瀬平の観音像と洞窟
（有形・建造物 歴史資料）

学芸員通信 46